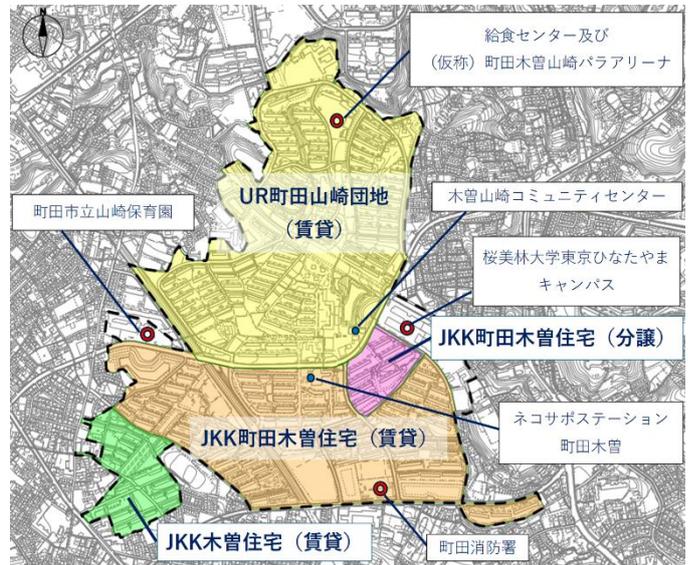


## 「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」の改定に向けた 検討状況について

### 1 趣旨・背景

木曽山崎団地地区では、2013年7月に策定した「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」について、モノレール延伸を見据えたまちづくり構想へ改定するため、将来のまちづくりを検討しています。

これに伴い、「まちづくり検討会」および「まちづくりワークショップ」を開催し、「まちづくりアンケート」を実施しましたので、検討状況について報告します。



木曽山崎団地地区区域図

### 2 経過

2024年6月18日	建設常任委員会行政報告「木曽山崎団地地区「まちづくり検討会」及び「まちづくりワークショップ」の開催について」
7月26日	第1回まちづくり検討会：現状・検討方針の確認
8月18日	第1回まちづくりワークショップ：まちの施設や機能のアイデア
8月29日 ～9月16日	まちづくりアンケート <a href="#">資料1</a> <a href="#">資料2</a>
11月18日	第2回まちづくり検討会：課題に対する取組の検討
12月1日	第2回まちづくりワークショップ：まちの施設や機能の配置アイデア

### 3 今後の予定

2025年2月	第3回まちづくり検討会：エリアイメージ等の検討
4月～11月	まちづくり検討会・まちづくりワークショップ
12月	構想素案の取りまとめ
2026年1月	構想素案市民意見募集
3月	構想改定

## 木曾山崎団地地区（UR町田山崎団地、J K K町田木曾住宅、J K K木曾住宅） まちづくりアンケート

2024年8月発行

日頃より町田市のまちづくり事業にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

木曾山崎団地地区は、「町田市都市づくりのマスタープラン」に基づき、モノレール延伸を契機として、新たなにぎわいの創出を目指した団地再生を推進します。

UR 町田山崎団地では、住民の皆さまと UR 都市機構が約 2 年間にわたって団地の将来像を検討し、その結果、次の 3 つの将来エリアイメージをまとめました。

①モノレール延伸計画を契機とした「にぎわい」のエリア、②多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のエリア、そして③多世代にとって「暮らしやすい」エリアです。

これからは、検討範囲を、木曾山崎団地地区全体に広げ、2040年に向けて目指す将来のまちづくりについて検討します。

今回、その一環として、「まちづくりアンケート」を実施させていただきます。お忙しい中恐れ入りますが、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

皆さまの声をまちづくりに反映し、木曾山崎団地地区の更なる発展につなげてまいります。

### 【対象者】

- ・木曾山崎団地地区の住民、事業者の皆さま
- ・まちづくりに興味がある皆さま

### 【アンケートのご回答にあたって】

1. オンラインでの回答は、お一人あたり一回になります。（ご家族各々が回答することは可能です。）
2. このアンケートは無記名方式ですので、個人が特定されることは一切ありません。いただいた回答は、まちづくりの検討を行うために活用させていただきます。

### 【回答の方法】

次の 2 つの方法からいずれか 1 つを選び、回答してください。

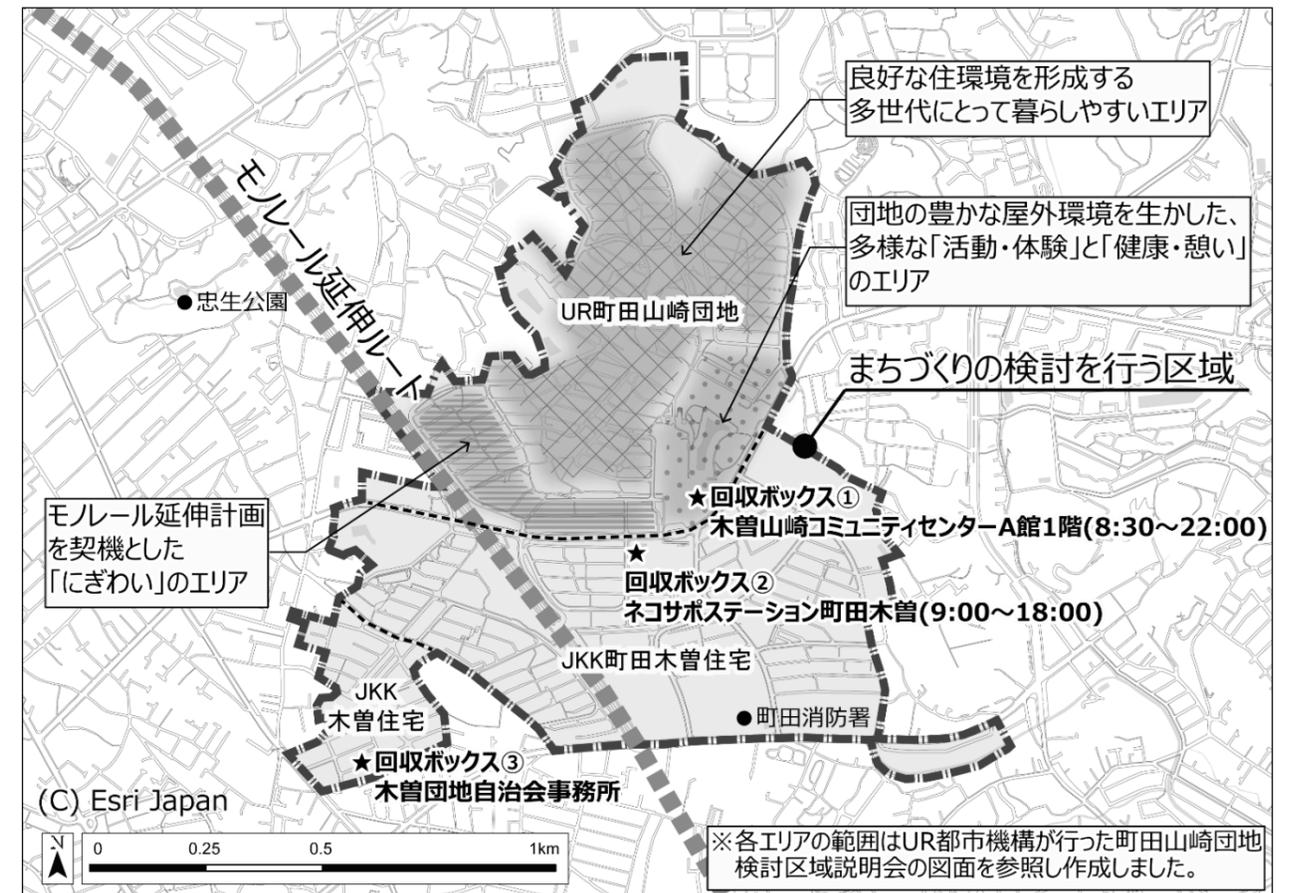
1. パソコン・スマートフォン・タブレットで、オンライン回答
2. アンケート用紙（この紙）に直接記入し、回収ボックスへ投函

※回収ボックス設置場所…

- ・木曾山崎コミュニティセンターA館1階（8：30～22：00）
- ・ネコサポステーション町田木曾（9：00～18：00）
- ・木曾団地自治会事務所

※オンラインで回答いただいた方は、回収ボックスへの投函は不要です。

### ■木曾山崎団地地区エリア



### 【オンライン回答について】

オンライン回答用 URL : <https://forms.gle/Q52YRZdTh3sva7Jq8>

※スマートフォン、タブレット等からは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。



アンケートの  
↑回答はこちらから↑

### 【アンケートの回答期限】

2024年9月16日（月）

### 【アンケートに関するお問い合わせ先】

町田市 都市づくり部 都市政策課 モノレールまちづくり推進室

担当者：穴水、今野、小泉

連絡先：042-724-4077

## アンケート

問1 お住まいをお答えください。(1つに○印)

1. UR 町田山崎団地
2. JKK 町田木曾住宅
3. JKK 町田木曾住宅ト号棟
4. JKK 木曾住宅
5. 上記以外の町田市内
6. 町田市外

問2 問1で「1.」～「4.」を回答した方は、居住年数をお答えください。(1つに○印)

1. 0～5年
2. 6～10年
3. 11～20年
4. 21～30年
5. 31～40年
6. 41～49年
7. 50年以上

問3 年齢をお答えください。(1つに○印)

1. 10歳未満
2. 10歳代
3. 20歳代
4. 30歳代
5. 40歳代
6. 50歳代
7. 60歳代
8. 70歳代
9. 80歳以上

問4 食料品・生活雑貨等の日用品の買い物をどこですることが多いかをお答えください。(1つに○印)

1. 団地内のスーパーやお店
2. 近隣のスーパーやお店
3. 町田駅周辺のお店
4. 町田駅周辺以外のお店
5. 大型店や安売り店
6. 通販・宅配
7. その他 ( )

問5 問4で「1.」～「5.」を回答した方は買い物の移動手段をお答えください。(1つに○印)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バス
4. タクシー
5. 自家用車
6. その他 ( )

問6 木曾山崎団地地区の団地再生に向けては、次のどの取組みを優先すべきだと考えますか。(1つに○印)

1. 将来を見据えて都市再開発を行い、新たな商業施設や集客施設を誘致し、「にぎわい」のあるまちへと発展させる。
2. 団地内の豊かな自然環境の保全・活用、運動やアート、音楽などの文化活動のスペースの整備を行い、「健康・憩い」と「活動・体験」を提供するまちにする。
3. 空き部屋や空きスペースの有効活用や、住宅改修やリノベーションなどの住環境の改善、テレワークスペースや地域活動・交流スペースの整備等による、多世代のニーズに応える住み心地の良い「暮らしやすい」まちにする。
4. その他 ( )

問7 モノレール延伸を契機とした「にぎわい」のあるまちにするためには、どのような施設が必要だと考えますか。(最大3つまで○印)

1. 商業、娯楽、飲食等の大型複合施設
2. 子ども向けの遊び場(屋内外の遊戯施設)
3. 大型量販店(家電量販店、総合スーパーなど)
4. 商業施設に併設した公園
5. 音楽やアート等の文化活動や生涯学習のスペース
6. 映画館やミニシアター
7. レストランやカフェ
8. モノレール駅周辺のランドマーク施設
9. 地元のイベントやフェスティバルの会場
10. その他 ( )

問8 多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちにするには、どのような施設が必要だと考えますか。(最大3つまで○印)

1. 自然に触れる緑地や自然公園
2. アートや音楽などの文化活動施設
3. ピクニックやバーベキュー等のアウトドアが体験できるエリア
4. アスレチックや健康遊具、大型複合遊具のある公園
5. スポーツができる広場
6. 地域の活動や交流を行うスペース
7. ランニングやウォーキングコース
8. スーパー銭湯やサウナなどの温浴施設
9. フィットネスクラブやスポーツ施設
10. その他 ( )

問9 多世代にとって「暮らしやすい」まちにするためには、どのような取組みが必要だと考えますか。(最大3つまで○印)

1. 商業施設の充実
2. 公共交通の充実
3. 新しい働き方の環境整備
4. 子育て支援の充実
5. 多世代のライフスタイルに対応した住宅の充実
6. 防災体制の整備
7. 防犯活動の強化
8. 自然環境の保全
9. 医療・健康施設の充実(病院、診療所、薬局など)
10. その他 ( )

問10 これからの木曾山崎団地地区のまちづくりについて、ご意見やアイデア等があれば教えてください。(ご自由にご記入ください)

---

---

---

---

---

うら面

## 木曾山崎団地地区まちづくりアンケート結果概要

- 1 目的 モノール延伸を見据えたまちづくり構想へ改定するため、2040 年に向けて目指す将来にまちづくりについて、ご意見やアイデアを広く収集するため
- 2 期間 2024 年 8 月 29 日から 9 月 16 日
- 3 対象者 木曾山崎団地地区の居住者、木曾山崎団地地区のまちづくりに興味のある方
- 4 周知方法 地区居住者 7,536 戸へアンケート用紙を配布  
広報まちだ 2024 年 9 月 1 日号、ホームページ、町田市公式 LINE、まちだ広報 X  
チラシ配布（桜美林大学、山崎高等学校、地区内の幼稚園および保育園）
- 5 回答方法 アンケート用紙を回収ボックスへ投函、オンライン回答
- 6 回答者数 582 名

## 7 アンケート項目

## (1) モノール延伸を契機とした「にぎわい」のあるまちづくりに求められた施設の上位 3 件

順位	選択肢	回答数	回答率 (%)
1	商業、娯楽、飲食等の大型複合施設	282	48.5
2	大型量販店（家電量販店、総合スーパーなど）	170	29.2
3	商業施設に併設した公園	159	27.3

## (2) 多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちづくりに求められた施設の上位 3 件

順位	選択肢	回答数	回答率 (%)
1	自然に触れる緑地や自然公園	357	61.3
2	地域の活動や交流を行うスペース	174	29.9
3	スーパー銭湯やサウナなどの温浴施設	173	29.7

## (3) 多世代にとって「暮らしやすい」まちづくりに求められた取組みの上位 3 件

順位	選択肢	回答数	回答率 (%)
1	公共交通の充実	323	55.5
2	医療・健康施設の充実（病院、診療所、薬局など）	297	51.0
3	多世代のライフスタイルに対応した住宅の充実	221	37.9

## (4) これからのまちづくりに関するご意見やアイデア

ご意見数 187 名、204 件のうち、多く頂いたご意見

- ・「多様なニーズに対応した施設の整備など居住環境の改善」、「魅力的な店舗や利便施設の導入」などのまちの魅力の向上
- ・「駅や拠点間をつなぐ公共交通の充実」などの利便性の向上
- ・「多様な活動に対応できる施設の拡充」などの多世代交流の充実

など

## 集計結果

問1 お住まいをお答えください。(回答数 582 件)

選択肢	回答数	割合 (%)
1. UR 町田山崎団地	189	32.5
2. JKK 町田木曽住宅	198	34.0
3. JKK 町田木曽住宅ト号棟	39	6.7
4. JKK 木曽住宅	43	7.4
5. 上記以外の町田市内	103	17.7
6. 町田市外	10	1.7

問2 問1で「1.」～「4.」を回答した方は、居住年数をお答えください。(回答数 469 件)

選択肢	回答数	割合 (%)
1. 0～5年	116	24.7
2. 6～10年	63	13.4
3. 11～20年	64	13.7
4. 21～30年	57	12.1
5. 31～40年	38	8.1
6. 41～49年	67	14.3
7. 50年以上	64	13.7

問3 年齢をお答えください。(回答数 582 件)

選択肢	回答数	割合 (%)
1. 10歳未満	0	0
2. 10歳代	3	0.5
3. 20歳代	14	2.4
4. 30歳代	38	6.5
5. 40歳代	86	14.8
6. 50歳代	122	21.0
7. 60歳代	93	16.0
8. 70歳代	138	23.7
9. 80歳以上	88	15.1

問4 食料品・生活雑貨等の日用品の買い物をどこですることが多いかをお答えください。(回答数 582 件)

選択肢	回答数	割合 (%)
1. 団地内のスーパーやお店	210	36.1
2. 近隣のスーパーやお店	246	42.3
3. 町田駅周辺のお店	45	7.7
4. 町田駅周辺以外のお店	11	1.9
5. 大型店や安売り店	45	7.7
6. 通販・宅配	21	3.6
7. その他	4	0.7

問5 問4で「1.」～「5.」を回答した方は買い物の移動手段をお答えください。（回答数 553 件）

選択肢	回答数	割合 (%)
1. 徒歩	243	43.9
2. 自転車	94	17.0
3. バス	48	8.7
4. タクシー	1	0.2
5. 自家用車	152	27.5
6. その他	15	2.7

問6 木曽山崎団地地区の団地再生に向けては、次のどの取組みを優先すべきだと考えますか。（回答数 582 件）

選択肢	回答数	割合 (%)
1. 将来を見据えて都市再開発を行い、新たな商業施設や集客施設を誘致し、「にぎわい」のあるまちへと発展させる。	147	25.3
2. 団地内の豊かな自然環境の保全・活用、運動やアート、音楽などの文化活動のスペースの整備を行い、「健康・憩い」と「活動・体験」を提供するまちにする。	137	23.5
3. 空き部屋や空きスペースの有効活用や、住宅改修やリノベーションなどの住環境の改善、テレワークスペースや地域活動・交流スペースの整備等による、多世代のニーズに応える住み心地の良い「暮らしやすい」まちにする。	267	45.9
4. その他	31	5.3

問7 モルレール延伸を契機とした「にぎわい」のあるまちにするためには、どのような施設が必要だと考えますか。（最大3つ）（回答数 1432 件）

選択肢	回答数	割合 (%)
1. 商業、娯楽、飲食等の大型複合施設	282	19.7
2. 子ども向けの遊び場（屋内外の遊戯施設）	126	8.8
3. 大型量販店（家電量販店、総合スーパーなど）	170	11.9
4. 商業施設に併設した公園	159	11.1
5. 音楽やアート等の文化活動や生涯学習のスペース	143	10.0
6. 映画館やミニシアター	130	9.1
7. レストランやカフェ	144	10.1
8. モルレール駅周辺のランドマーク施設	128	8.9
9. 地元のイベントやフェスティバルの会場	78	5.4
10. その他	72	5.0

問8 多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のあるまちにするには、どのような施設が必要だと考えますか。  
 (最大3つ) (回答数 1469 件)

選択肢	回答数	割合 (%)
1. 自然に触れる緑地や自然公園	357	24.3
2. アートや音楽などの文化活動施設	157	10.7
3. ピクニックやバーベキュー等のアウトドアが体験できるエリア	89	6.1
4. アスレチックや健康遊具、大型複合遊具のある公園	148	10.1
5. スポーツができる広場	108	7.3
6. 地域の活動や交流を行うスペース	174	11.8
7. ランニングやウォーキングコース	160	10.9
8. スーパー銭湯やサウナなどの温浴施設	173	11.8
9. フィットネスクラブやスポーツ施設	69	4.7
10. その他	34	2.3

問9 多世代にとって「暮らしやすい」まちにするためには、どのような取組みが必要だと考えますか。(最大3つ) (回答数 1620 件)

選択肢	回答数	割合 (%)
1. 商業施設の充実	211	13.0
2. 公共交通の充実	323	19.9
3. 新しい働き方の環境整備	68	4.2
4. 子育て支援の充実	124	7.7
5. 多世代のライフスタイルに対応した住宅の充実	221	13.7
6. 防災体制の整備	130	8.0
7. 防犯活動の強化	98	6.1
8. 自然環境の保全	128	7.9
9. 医療・健康施設の充実 (病院、診療所、薬局など)	297	18.3
10. その他	20	1.2

問10 これからの木曽山崎団地地区のまちづくりについて、ご意見やアイデア等があれば教えてください。(自由記述) (回答数 204 件)

課題	件数
1 安心・安全面の充実	15
(1) 道路・公園等の公共空間のバリアフリー化の推進	2
(2) 防災対策	1
(3) 防犯対策	4
(4) 子育て支援策の充実	3
(5) 健康維持策の充実	3
(6) 歩行者の安全性の向上	2
2 多世代交流の充実	37
(1) 多世代の交流の推進	11
(2) 住民同士のコミュニケーションの活性化	4
(3) コミュニケーションが自然と促されるような仕掛けのある休憩スペース等の充実	5
(4) 多様な活動に対応できる施設の拡充	16
(5) ボランティアや NPO 等の活動を支援する体制	1
3 利便性の向上	34
(1) 高齢者等の買い物難民に対する支援など生活支援の充実	7
(2) 団地内や近隣を回遊するコミュニティバスなど地域の交通対策	7
(3) 駅や拠点間をつなぐ公共交通の充実	20
4 まちの魅力の向上	64
(1) 多様なニーズに対応した施設の整備など居住環境の改善	38
(2) 魅力的な店舗や利便施設の導入	26
5 環境への配慮	8
(1) 緑豊かな環境を活かしたまちづくりの推進	7
(2) 環境負荷の低減。自然エネルギーの積極導入	1
6 その他	46
合計	204